

東北地方 1 か月予報

(2 月 1 4 日から 3 月 1 3 日までの天候見通し)

平成 1 6 年 2 月 1 3 日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

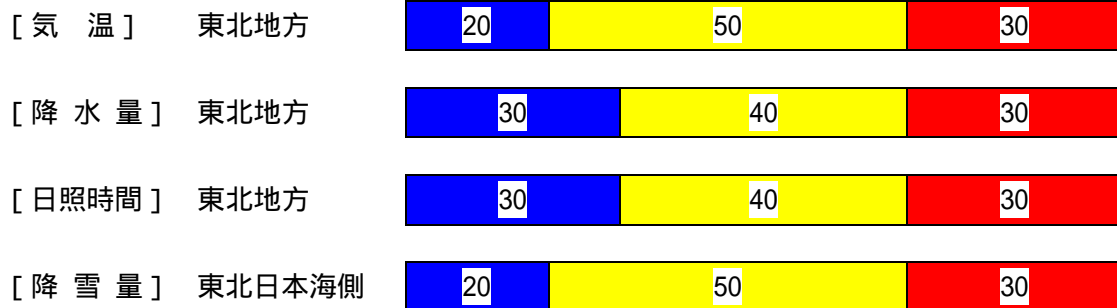
向こう 1 か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

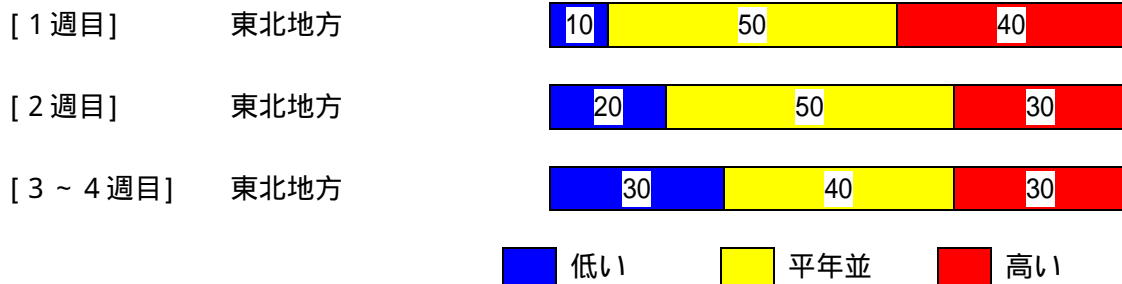
週別の気温は、1 週目は平年並、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



低い (少ない) 平年並 高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2 月 1 4 日 (土) ~ 3 月 1 3 日 (土)
1 週目 : 2 月 1 4 日 (土) ~ 2 月 2 0 日 (金)
2 週目 : 2 月 2 1 日 (土) ~ 2 月 2 7 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 2 月 2 8 日 (土) ~ 3 月 1 2 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 2 0 日
3 か月予報 : 2 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分
暖候期予報 : 2 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	1.8	62.9	150.1	14	1.0	1.5	2.2
新庄	0.1	123.7	79.5		-0.9	-0.3	0.7
若松	0.8	63.8	113.3	84	-0.2	0.3	1.4
深浦	0.8	74.3	72.5	45	-0.2	0.4	1.3
青森	0.0	90.3	98.8	142	-1.1	-0.4	0.6
むつ	-0.5	79.2	116.3		-1.5	-0.8	0.0
八戸	0.2	47.5	147.1	47	-0.8	-0.2	0.8
秋田	1.2	91.3	90.1	58	0.2	0.8	1.8
盛岡	-0.4	61.6	143.3	48	-1.4	-0.8	0.3
宮古	1.2	75.8	161.5	33	0.4	0.8	1.7
酒田	2.4	102.7	84.8	40	1.5	2.0	2.9
山形	0.9	65.6	118.8	69	-0.1	0.4	1.6
仙台	2.7	54.8	161.2	18	1.9	2.3	3.2
石巻	1.9	49.5	170.7		1.1	1.5	2.5
福島	2.9	57.4	157.1	29	2.0	2.4	3.5
白河	1.6	50.2	163.9		0.7	1.0	2.2
小名浜	4.6	70.9	176.5	0	3.8	4.2	5.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.7～+0.6	82～ 110	96～ 104	65～ 123
東北日本海側	-0.6～+0.6	92～ 108	91～ 107	74～ 129
東北太平洋側	-0.6～+0.6	72～ 118	98～ 104	57～ 120

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.9～+1.0	-0.9～+0.8	-0.5～+0.5
東北日本海側	-0.9～+0.9	-0.8～+0.8	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.9～+1.0	-0.8～+0.8	-0.5～+0.5

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33 %）から大きく隔たった確率（10 %や 60 %、70 %など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 2 月 13 日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(2 月 14 日～3 月 13 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目(2 月 14 日～2 月 20 日) :

明日(14 日)から明後日(15 日)にかけて、発達した低気圧の影響で荒れた天気となるでしょう。期間の中頃にも、気圧の谷の影響で天気がくずれる見込みです。その他の日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪の降る日が多く、東北太平洋側では沿岸部を中心におおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(2 月 21 日～2 月 27 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(2 月 28 日～3 月 12 日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は曇りや雨又は雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

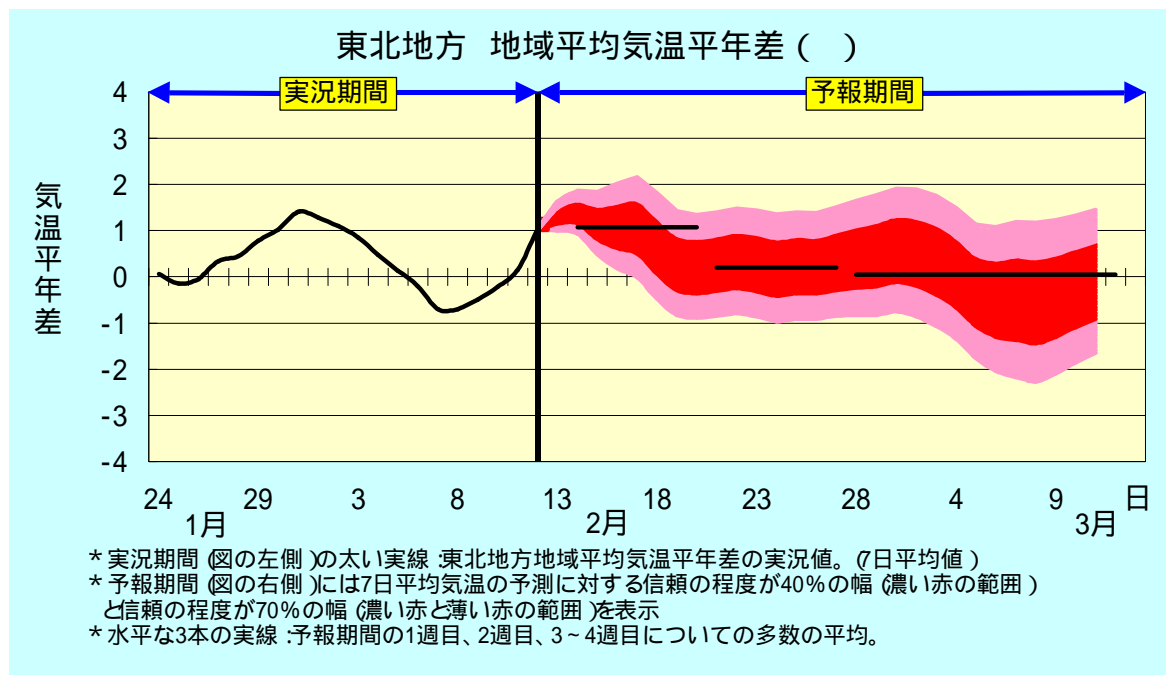
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	8.7 日	1.7 日	1.9 日	5.1 日
東北太平洋側	17.6 日	4.3 日	4.3 日	9.0 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「高い」、2 週目と 3～4 週目は「平年並」と予測している。予報は、週間予報資料から、1 週目を「平年並」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

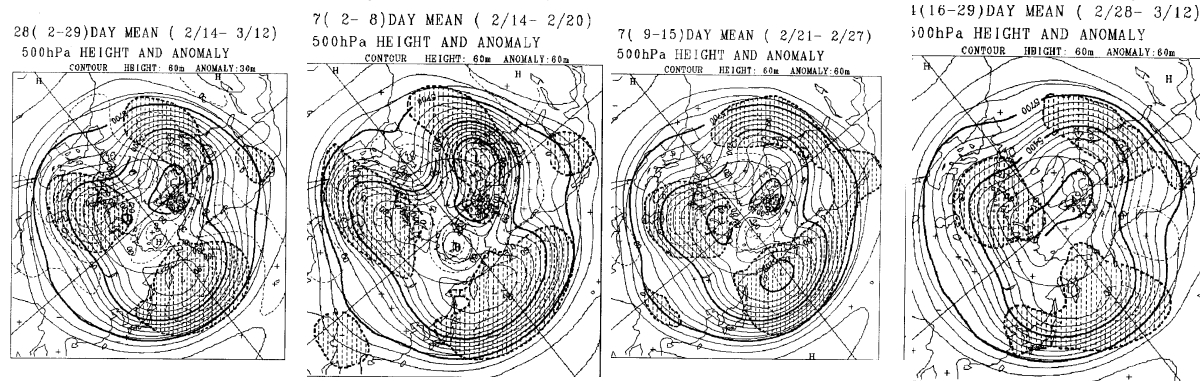


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は正偏差、北日本は日付変更線付近に中心を持つ負偏差に覆われる。日本の東海上に寒気が南下しやすく、北日本は寒気の影響を受けやすい見込み。

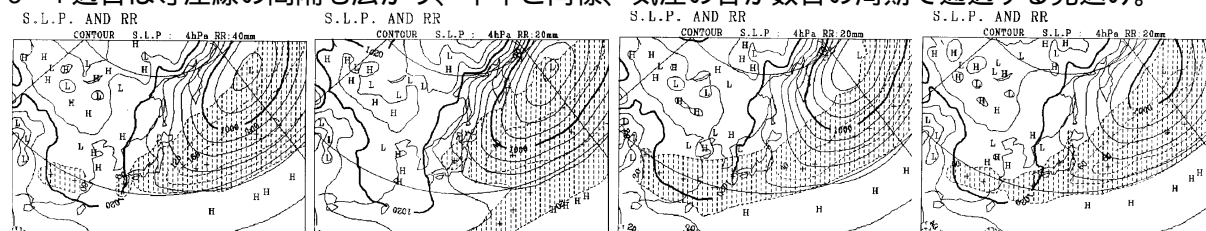
週別に見ると、1週目は月平均と同様。2週目は、東北地方は弱い正偏差に覆われるが、アリューシャン付近の寒冷渦は強い。3～4週目は、大陸東岸から日本域は広く負偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、北日本中心の冬型の気圧配置。アリューシャンの低圧部は平年より強い。降水域は、日本の南海上と日本海側にかかる。

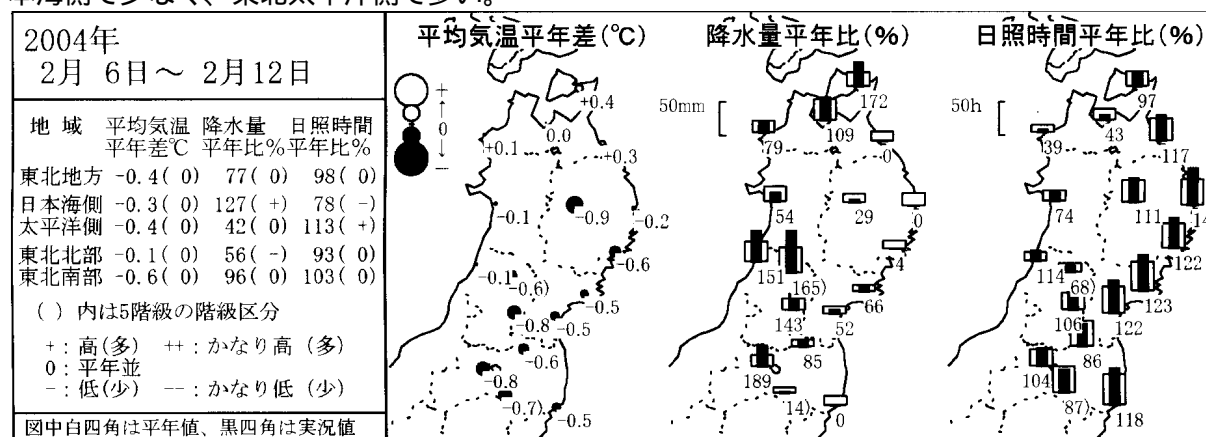
週別に見ると、1週目は冬型の気圧配置。2週目は月平均と同様で、降水域の中心は日本の南岸。3～4週目は等圧線の間隔も広がり、平年と同様、気圧の谷が数日の周期で通過する見込み。



4. 最近1週間（2月6日～2月12日）の天候の経過

この期間、6～7日は冬型の気圧配置が強まり、東北日本海側は雪で、東北太平洋側でも雪となった所があった。その後も9日までは冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪で、東北太平洋側はおおむね晴れた。10日以降、冬型の気圧配置が緩み、東北日本海側でも晴れた所があった。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）